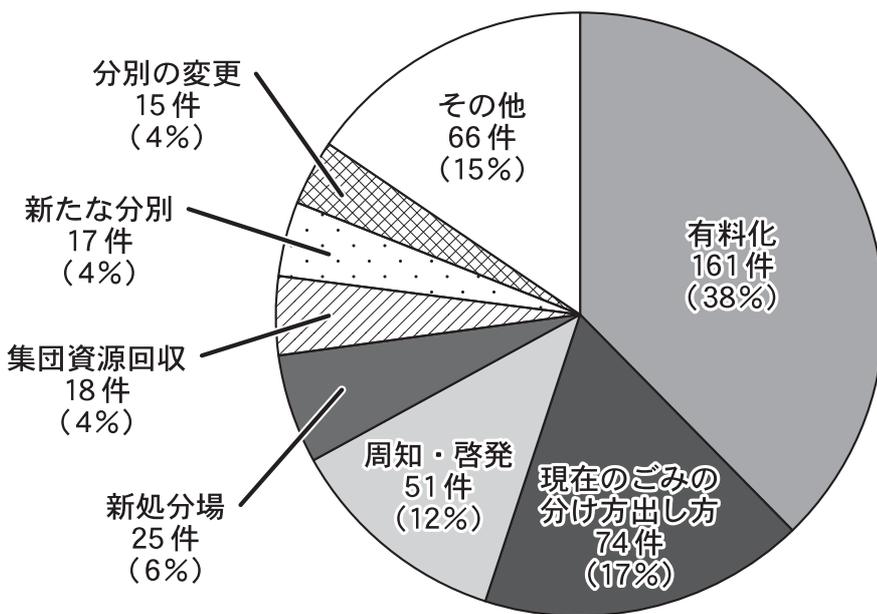


ごみのよりよい始末を進める井戸端会議

ごみの減量化に向けて

市は、9月17日(火)から全34回の「ごみのよりよい始末を進める井戸端会議」を開催しました。この中で、ごみ減量化の具体的な施策とスケジュール(案)の内容を説明し、市民の皆さんから、ごみの有料化やごみの分け方・出し方、新処分場などについての質問や意見、要望など、たくさん貴重な声をお聞かせいただきました。今月号では、その中から主なものと、それに対する市の考え方をお知らせします。

問合先 市廃棄物対策課



いただいた声の件数

ごみの有料化について

■有料化の導入目的は⑦ごみ処理に対する市民意識の向上やごみ減量化、資源化の一層の促進と、ごみ排出量に応じた負担の公平化のためです

■有料化はごみ減量、資源の分別推進につながるのではありません⑧国の調査では、自治体のごみ有料化導入により、ごみが25%減量したとの結果があります。また、全てのごみを有料にする訳ではなく、資源ごみ(びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装)は無料なので、分別徹底によるごみの減量化、資源化が



促進されると考えています

■ボランティア袋の形状、配布方法は⑨指定ごみ袋とは別に専用の袋を作り、町会(自治会)などからの申し込みで配布する予定です。また、個人のボランティア活動などについて、関係部署と協議し、無料になるよう検討します

■家庭の庭木類は有料か、また出し方は⑩家庭の庭木・草類は有料です。指定ごみ袋に入れて燃やせるごみとして出すか、袋に入らないものは大型ごみとして出してください
 ■指定ごみ袋以外で出したときは⑪「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」は、指定ごみ袋以外、収集しません。しかし、生ごみなどが含まれている場合があるので、一定期間そのまま置き、最終的には市で収集しますが、排出者を特定し指導するため、開封調査も実施します

現在のごみの分け方、出し方について

■大型ごみの範囲は⑫現在は45ℓの袋に入らないもの(大きなもの)が大型ごみです

■大型ごみは少量でも申し込みして良いのか⑬1点からでも構いませんが、ある程度地域ごとにまとめて収集しているので、日時指定はでき

ません。収集日は申し込み時にお伝えします

■直接搬入は可能か⑭じん芥処理センターへの直接搬入は可能です

周知・啓発について

■共同住宅への周知徹底の方法は⑮共同住宅を含め、全戸にパンフレットを配布します

■新しい分別の周知方法は⑯分別変更前に、細かい分別の方法を載せた分別の手引きを作成します。また、町会(自治会)単位などで説明会を行うほか、ごみステーション用の掲示板を作成します



新処分場について

■平成27年からほとんどが燃やせるごみになるが、焼却炉の性能が上がるのか⑰現在の焼却炉は2基で9.6

t燃やせますが、新しい焼却炉は2基で100t燃やせます

■ダイオキシンの問題は⑱ダイオキシンや他の有害物質は、国の基準もしくはそれ以上の厳しい基準を設け処理します

集団資源回収について

■奨励金の対象となるびんは、ビールびんと一升びんだけが、その他のびんは対象とならないか⑲現在は、アルミ缶、一升びん、ビールびんのみを考えています

新たな分別収集(紙類、資源ごみ、危険ごみ)について

■収集日については⑳平成26年12月まで紙類、資源ごみ、危険ごみは日曜日を予定しています

■出し方については㉑それぞれ分けて袋に入れるか、しばって出してもらおう予定です。詳細が決まりましたらお知らせします

■集団資源回収を町会(自治会)でやめてもいいのか㉒今回の分別収集は、集団資源回収に参加できない世帯等に、資源ごみの分別を進めてもらうことを大きな目的として実施します。基本は集団資源回収と考えているので、実施している地域は引き続き集団資源回収をお願いします

分別の変更について

■「燃やせるごみ」の収集回数が週2回では足りないのでは▼分別区分の変更などにより、平成27年の「燃やせるごみ」は、現在の「燃やせないごみ」とほぼ同じ量になると推計しています。このことから、収集回数は週2回で足りると考えています

■ごみステーションが小さいとあふれるのでは▼ごみステーション設置補助もあるので、状況に応じて町会(自治会)での増設をお願いします

「ごみ」のよりよい始末を進める井戸端会議に、たくさんの方の参加をいただき、ありがとうございました。

会場でいただいた貴重な意見や要望は、今後のごみ減量化に向けた施策にいかしてまいります。

今回、紹介できなかった質問や意見、要望は、市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

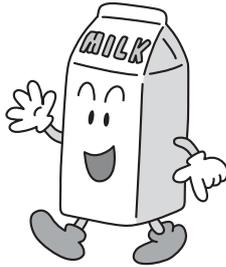


冬休み親子工作教室

牛乳パックと古布で、引き出し付きのかわいいオリジナルチェストを作りませんか。

日時 平成26年1月8日(水) 午後1時～3時
 対象 小学生以下の子どもと保護者
 定員 10組(申込順)
 参加料 無料
 持ち物 はさみ、木工用ボンド、牛乳パック6個

(中を洗い開いていないもの)、ボタンなどの飾り、古布1枚(大人のYシャツ程度の大きさのもの)
 会場・申込・問合せ先 前日までに、クリーンエコ(3西4)へ ☎31局1153



大型ごみの収集は、電話申込による戸別収集です

申込できる回数 (1戸あたり)	上半期(4月～9月) 下半期(10月～翌年3月) 各1回
1回に申し込み できる大型ごみの数	10点まで
申込・問合せ先	大型ごみ受付センター ☎31局0053

冬期間は次のルールを守りましょう

- 除排雪作業の邪魔にならないよう、敷地内に大型ごみを置く
- 雪で埋まらないよう、収集日の当日に大型ごみを置く

この冬も節電にご協力を

この冬も、電力需給がひっ迫する可能性があります。発電所が計画外に停止した場合、電力の供給量が余らなくなり、市民の皆さんの安全に係わる事態が想定されます。

節電には、市民の皆さんの小さな積み重ねが大きな力になります。ご理解とご協力をお願いします。

【節電目標】

以下の期間と時間で、厳冬だった2010年(平成22年)と比べて**6%以上**の節電をお願いします。

節電要請期間	節電要請時間
12月9日(月)～平成26年3月7日(金) 土・日曜日、祝日と12月30日(月)から平成26年1月3日(金)を除く。	午後4時～9時

上記の期間・時間以外でも12月2日(月)から平成26年3月31日(月)(土・日曜日、祝日を除く)の午前8時から午後9時の時間で、無理のない形での節電をお願いします。

【市役所での取り組み】

この夏の節電の取り組みでは、平成22年度と比べて本庁舎で30.5%削減したのをはじめ、市の施設全体で、目標である7%の削減を大きく上回る、13.7%の削減を達成することができました。この冬も引き続き、ノー残業デーの実施やウォームビズの励行など、積極的に節電に取り組めます。

問合せ先 市環境保全課環境保全係